

# 「わくわくコミュニティフェスタ inとくしま」を開催



徳島市コミュニティ連絡協議会事務局

## コミュニティ だより

徳島市  
徳島市コミュニティ  
連絡協議会

〒770-8571  
徳島市幸町2丁目5番地  
TEL(088)621-5510  
FAX(088)621-5511

平成二十八年十月三十日  
(日)、アステイとくしまにお  
いて「わくわくコミュニティ  
フェスタinとくしま」を開  
催しました。

このイベントは、徳島市の  
コミュニティ活動をもっと広  
く一般に知ってもらいたいと、  
一般社団法人徳島青年会議所  
からの呼びかけで、一般財団  
法人徳島県観光協会と徳島市  
コミュニティ連絡協議会の三  
者共催で実施しました。  
アステイとくしまという大



ペン立て作り

展示・体  
験ブースで  
は、地域活  
動を紹介す  
るパネルや  
写真の展示  
、人形浄瑠璃  
の展示など  
、それぞれの  
地域を知っ  
てもらおうた  
めに工夫を



子どもの阿波踊り

きな会場でのイベントは初め  
てで、わからないことばかり  
の中、開催の一年前から何度  
も会議や打合せを重ね準備を  
してきました。  
飲食・販売ブースでは、地  
域の特産品などの販売があり、  
早々に売り切れたブースもあ  
りました。



消防車の展示

凝らした展示をしていました。  
また、地域の特徴を活かした  
体験ができるようなブースも  
あり、子どもたちが木でペン  
立てを作ったり、手作りの木  
のおもちゃで遊んだりして楽  
しんでいました。  
ステージでは、だんじりの  
引き廻しに始まり、地域で  
作った音頭に合わせて踊った  
り、普段コミュニティセン  
ターで練習している阿波踊り  
などを披露したり、地域活動  
や地域の名所を紹介するプレ  
ゼンなどがありました。また、  
お笑い芸人のU字工事のトー  
クショーもあり、ステージか  
ら降りてインタビュースなが  
ら各ブースを回って会場を盛  
り上げてくれました。  
他にも防災グッズや消防車



マグロの計量クイズ

の展示、マグロ計量クイズや  
参加賞がもらえるクイズラ  
リー、自衛隊による豚汁の炊  
き出しなど盛りだくさんの内  
容でした。

当日は三千人を超える来場  
者があり、大盛況のうちに無  
事終了しました。

このイベントを通して自分  
が住んでいる地域がどのよう  
な活動をしているのかを知り、  
今まで地域活動に参加したこ  
とのなかった人たちが少しで  
も地域活動に興味を持ち、参  
加するきっかけになればと期  
待します。



# 防犯パトロールに強力な『ちから』 ・青色回転灯装備車の配備。

昭和コミュニティ協議会

会長 松岡 勤

平成二十八年十二月二十七日に昭和コミュニティセンターにおいて、防犯パトロール車「宝くじ号」の贈呈式・出発式が執り行われ、徳島県



防犯協会より、徳島東防犯連合会昭和支部に対して、青色回転灯装備車一台が寄贈されました。

通称「青パト」と称すこの

青色回転灯装備車は、今までは着脱用の青色回転灯を個人の車の屋根に装着し、地域の防犯や通学路の見回りパトロール等の活動をしていきましたが、個人の車に代えてそれらの活動に使用するように、と配備された白とブルーのツートンが映える軽四輪車であります。駐車場とか、維持や運用に関することは全て地域が担うことになりすが、地域の安全・



席し、厳かな寄贈式典に続き、パトカー先導で地域内パトロールへと「青パト」初出動という出発式を行いました。  
関係者の方々のご支援ご協力に深く感謝を致しますとともに、これからも地域の安心・安全を守るために地域の人たちとともに頑張っていくと、心を新たにしています。

安心を守る大きな『ちから』になることは間違いありません。

昭和地区の防犯協会では、昭和地域の安全を守る会が主として夜間パトロールを、セーフティーパトロール隊が地区内の学校の立哨やパトロール、さらに子ども見守り隊による登下校時の「青パト」によるパトロール、それに地域内諸行事に係る支援など、様々な活動を行っています。この車の寄贈を受け、活動の範囲が広がる意義深いもので非常にありがたい、と昭和地

区防犯協会秋月会長が代表で、連合会船越会長より受け取りました。贈呈式並びに出発式には、徳島県防犯協会から池西専務理事、東防犯連合会船越会長、徳島東警察署からは阿地署長に生活安全課濱田課長と小田係長、昭和交番足立巡查長、徳島青少年補導センター清水所長と市民生活課渡邊主幹、そして地域内の小・中学校長や地域の関係者三十余名が出



# 新町地区の防災

新町コミュニティ協議会

会長 沖野 高穂

昨年、熊本・鳥取・茨城と大きな地震が相次いで発生し、また、南海トラフを震源とする巨大地震が今世紀前半にも発生するといわれています。今、私たちの一番の課題は、このような災害に対応できる防災組織の確立ではないでしょうか。わが新町は人口も減少の一途をたどっており、一方で六十五歳以上のいわゆる高齢者の人口割合が三七・四%と市内で一番高くなっています。このため、常日頃から防災や避難の心構えが特に

必要となります。そこで、コミュニティ協議会と町内会役員で、昨年度は海陽町の南部防災館と浅川の津波史跡を見学し、実際に安政南海地震や昭和南海地震の津波到達地点に立ち、その被害の大きさを見聞しました。また、今年度は、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」を見学し、私たちも経験したあの大地震の実際の被害状況を写真やがれきの再現で目の当たりにし、地震の恐怖とその備えの必要性を再確認いたしました。

この研修の結果、新町地区では各町内会単位の自主防災組織を統合し、新町地区自主防災連合組織を結成することができました。結成にあたり、地区に備蓄されている防災倉庫の点検を第一回目の訓練として実施し、災害時、何が必要かを専門家の意見を聞きながら検討会を何度か持ち、現在資機材を発注したところであります。また、他地区ですでに作成されている津波避難支援マップを徳島大学田村准教授と徳島市危機管理課の指導の下、製作に取り掛かっていま

す。地区の皆さんにもこのマップには大きな関心を持っていただき、毎回のワークショップには大勢の参加者があります。この資機材の確保と津波避難支援マップの完成後には、新町地区自主防災連合組織の皆さんと地区コミュニティ協議会・町内会と連携した地道な避難訓練や防災訓練の実施を予定しています。



浅川の津波史跡の見学



防災倉庫の点検



津波避難支援マップの作成

地震発生!!



# 平成28年度 徳島市民防災訓練

## 不動コミュニティ協議会



グラウンドでの訓練の様子

「十月十六日午前九時ごろ、南海トラフ沿いの震源とする強い地震が発生し、徳島市では最大震度六強が観測された。不動地区では、家具の転倒や火災、道路の寸断が発生し、電気・ガス・水道・交通機関等のライフラインも被害を受けている。」という想定で訓練が開始されました。所要時



倒壊家屋からの救出訓練

間を計測しながら、各家庭から徒歩や自転車での不動小学校に集合しました。  
まず始めに、津波警報及び緊急地震速報発表時に鳴動する特殊サイレンを聞く、情報伝達訓練を行いました。次に、応急危険度判定士による応急危険度判定を行い、不動小学校が避難所として使用可能となりました。ここからは、図書室では避難所運営体験、グラウンドでは転倒家屋からの救出訓練・災害用伝言ダイヤル体験・ロープワーク・投光器や発電機などの資機材取扱訓練・防災ラジオ講座をローションで実施。体育館では、心肺蘇生法と止血法。家庭科室では、炊き出し訓練を行いました。この日は、不動小・中学生も参加し、新聞紙



ロープワーク

による防災スリッパ作り・消火器体験・起震車による地震体験・給水車を使用した給水体験を行いました。訓練終了後には、炊き出し班が作った五目ご飯を各自防災組織に配布する物資配給訓練を行いました。天候にも恵まれ、無事訓練を終了することができました。  
今回の徳島市民防災訓練に伴い、不動地区自主防災連合会を発足しました。町内には、九つの自主防災組織があり、自主防災組織間の連携を高める組織として連合会を立ち上げました。年間を通じて、自主防災リーダー研修会を行い、防災研修や実践的な訓練をし、地域防災のリーダーを育てていきたいと思えます。

# みんなで楽しく！ 入田コミセン祭り



## 入田町まちづくり協議会



文化展の様子



芸能大会（締め太鼓）

平成二十八年十一月十三日（日）、地域の協力のもと、入田コミセン祭りを盛大に開催しました。  
オープニングセレモニーでは、入田幼稚園園児によるダンスや、入田小学校児童による締め太鼓と歌が披露されました。  
文化展は、町民の方や幼稚園児、小・中学校児童生徒が出品した絵画、写真、書道、生け花、手芸、俳句、短歌など、約二百点の作品を展示しました。どの作品も日々の努力の成果が詰まった力作ばかりで、会場を訪れた人は、その出来栄に感心しながら熱心に鑑賞されていました。  
芸能発表では、日頃サーク



販売コーナー

ル活動で腕を磨いている大正琴、太極拳、締め太鼓、懐メロや一般のダンス、カラオケ等があり、熱のこもった発表に会場からは大きな拍手が送られました。

販売コーナーは、婦人会によるたこ焼き、うどんの販売、きに入田「入田市」の野菜と惣菜の販売、小学校PTAによるバザーやくじ引き、金魚すくい、わたあめ、スーパードールすくい等の模擬店があり、どのコーナーも多くのお客さんでにぎわいました。

他にも、手作りの竹馬や水鉄砲コーナーがあり、子どもたちは地域の方に教えてもらい初めての竹馬に挑戦して歓声をあげていました。また、祭りの目玉として、



地元有志による餅つき

地元有志による餅つきをし、つきたての餅を来場者にふるまったり、有名連の水玉連による阿波踊りが披露されました。

今回は、地域の方々やPTA、婦人会が一緒になって祭り盛り上げ、楽しくにぎわいのある行事となりました。これからも、普段関わりの少ない様々な世代が協力できる行事を実施し、人と人の絆を大切にした地域の活性化につなげていきたいと考えております。



### 名所・旧跡

# 瑞川院をたずねて

応神町コミュニティ協議会

その昔、吉成村七丁原の一角に、瑞川院という豪華な寺院が存在しました。

慶長年間といいますが、天下分け目の関ヶ原合戦が行われた四百年ほど前、もとは勝瑞村にあった寺を何かの理由でここに移したそうです。

一千坪の境内には本堂、釈迦堂、説法堂、客殿、鐘楼等七堂伽藍の形態を備えています。また、寺伝には、蜂須賀家政公鷹狩りの折り、立ち寄られ茶に適した清水にいた

く感じ入り、五町余歩の年貢米を下賜されたとあり、そのほかにも一町六反もの所有地が境外にあり、檀徒の少ないわりには裕福な寺院で、十三代三百年の間は無事平穏が続いていました。

ところが、安政四年の大地震で本堂が倒壊、その後は老朽化と台風の被害で衰退して

いきました。



十四代快真和尚により再建計画がなされましたが思うように進まず、明治維新の廃藩により、扶持米も途絶え、もっぱら加持祈祷と信者の寄付で生計をたてていきましたが、いつしか一町六反の境外地も姿を消し、太平洋戦争以後は宗教法により廃寺となりました。

現在、寺院跡は徳島市の管理となり、広い公園として子どもや高齢者の憩いの場に生まれ変わり、その一角に信者

結衆により、瑞川院の碑と、五輪塔が二基、歴代住職の墓が並び、往時の繁栄の姿を残しています。



瑞川院史



懐園上人の碑



# 健康維持増進を目指して 渭北コミュニティ

渭北街づくり協議会

会長 竹田 昌弘

子どもから高齢者に至るまで、全ての住民が健康で生きがいのある生活を送れる地域社会の実現を図るために、次の事を行っています。

一・渭北歩こう大会  
十月の体育の日に、子ども



渭北歩こう大会

から大人までが「親しい交わり」をもって吉野川河川敷運動公園に集まり、開会式・ラジオ体操後、四キロメートル・六キロメートル・十キロメートルのコースを各人の体力により選択して、吉野川堤防上を歩きます

が、吉野川の清流や堤防上の野草・野鳥・干潟の生き物を観察し、広大な景色を眺めながら隣の人と話し合います。終点に着いたときには知人となり、次回の参加を約束している光景も見られます。完歩賞と記念品を受け取り、爽やかな時間を終えていきます。この



ラジオ体操

大会を行って十六年になりますが、日常朝夕に多くの住民の姿が見られるようになりました。続けて欲しいものです。

二・ラジオ体操

地域の東・中央・西にあたる町内でラジオ体操をしており、東側地域では、五十年前から参加している人々の中には、元気はつらつの九十三才の方がいますが、二十才は若く見えます。

参加者のAさんの感想です。「九時十分、さあ出かけよう！ラジオ体操が始まる、急いでコミセンへ、土日祝日を除き、ご近所さんと元気にラジオ体操をします。体操の前後のス



阿波踊り体操

トレッチもかかさず、終わると手足も温まり、皆さん笑顔。また体操後の防災、健康等々の話しは弾みます。体操は短時間で激しい運動でもなく、年齢に関係なく続けられ感謝です。リフレッシュされる一日の始まりが覚醒されるようです。さあ、今日も頑張ろう！」

三・他にも、阿波踊り体操等は毎週一回、健康セミナーは年三回実施。大変好評です。

新町地区の防災活動は現在の喫緊の大課題で、自主防災連合組織の結成の完成は見事です。

応神地区の瑞川院だよりは市民にとっても目を見開かせる紹介です。各地区の名所・旧跡の紹介は華です。



## 編集後記

百花繚乱の好季、徳島市の花は「さくら」です。江戸時代、徳島城に植わっていたのが蜂須賀桜です。入田の森出初美さんが、日本で初めて特殊な方法で蜂須賀桜の増殖に成功し、今日の徳島の名桜に育て上げたのです。

徳島市のコミセンも日本最初の創設になるものでしょう。徳島市のコミュニティ活動のアステイとくしまでの大々的な紹介開催事業は大きな誇りです。

昭和地区の防犯パトロールは、子どもの安全を守ろうとする尊い活動です。渭北地区の健康維持増進を図る歩こう大会やラジオ体操活動も貴重なものです。

みんなで楽しむ入田コミセン祭りは老若男女の文化展や芸能発表会など絆づくりの典型といえるでしょう。

新町地区の防災活動は現在の喫緊の大課題で、自主防災連合組織の結成の完成は見事です。

応神地区の瑞川院だよりは市民にとっても目を見開かせる紹介です。各地区の名所・旧跡の紹介は華です。

(佐藤義忠 記)